



ユーザ アカウントの管理

この章では、ゲスト ユーザ アカウントの作成および管理方法、Web 認証プロセス、および、Web 認証ログイン ウィンドウのカスタマイズ手順について説明します。この章の内容は、次のとおりです。

- [ゲスト ユーザ アカウントの作成 \(P. 9-2\)](#)
- [Web 認証プロセス \(P. 9-8\)](#)
- [Web 認証ログイン ウィンドウの選択 \(P. 9-10\)](#)

ゲストユーザアカウントの作成

コントローラは、WLAN上でゲストユーザアクセスを提供できます。ゲストユーザアカウント作成の最初の手順では、ロビーアンバサダーアカウントとしても知られる、ロビー管理者アカウントを作成します。このアカウントを作成すると、ロビーアンバサダーはゲストユーザアカウントをコントローラ上で作成および管理できます。ロビーアンバサダーは、ゲストアカウントを管理するために使用するWebページのみを設定権限やアクセスを制限します。

ロビーアンバサダーは、ゲストユーザアカウントを利用できる時間を指定できます。指定した時間を経過すると、ゲストユーザアカウントは、自動的に無効になります。

ローカルユーザデータベースは、最大エントリ数が2048に制限され、デフォルト値は、512エントリです (Security > General ページ)。データベースは、ローカル管理ユーザ (ロビーアンバサダーを含む)、ネットユーザ (ゲストユーザを含む)、MACフィルタエントリ、および無効になったクライアントで共有します。これらを合わせて、設定済みのデータベース容量を超えることはできません。

ロビーアンバサダーアカウントの作成

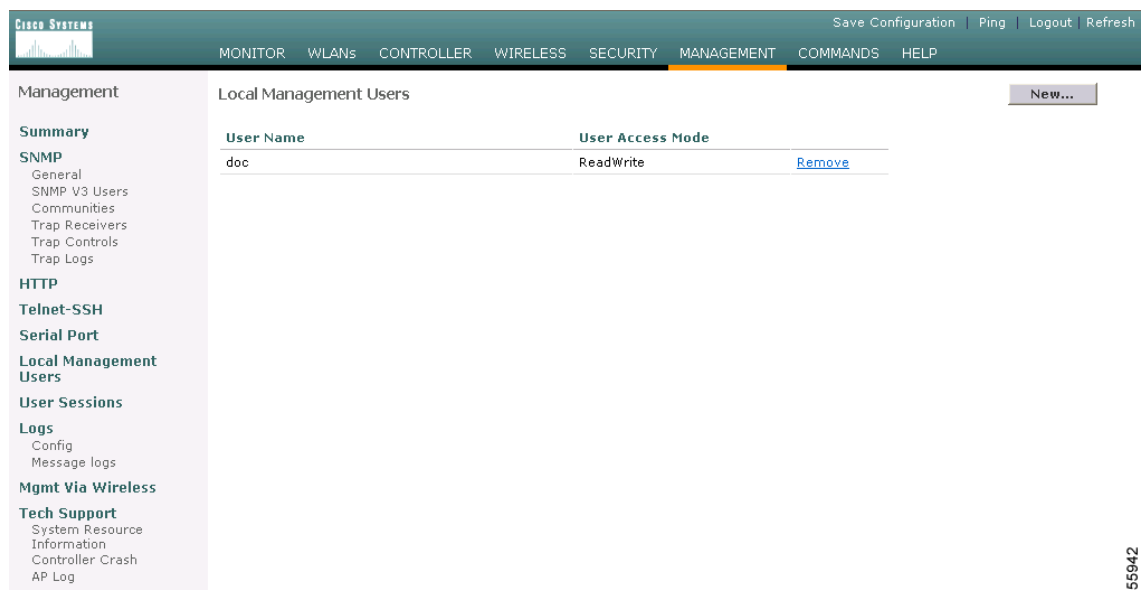
GUI または CLI を使用して、コントロール上にロビーアンバサダーアカウントを作成することができます。

GUIを使用したロビーアンバサダーアカウントの作成

コントローラ GUI を使用してロビーアンバサダーアカウントを作成する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** **Management > Local Management Users** をクリックして、Local Management Users ページにアクセスします (図 9-1 を参照)。

図 9-1 Local Management Users ページ



155942

このページは、ローカル管理ユーザの名前やアクセス権限の一覧表示です。



(注) **Remove** をクリックすると、コントローラからいずれかのユーザ アカウントを削除できます。ただし、デフォルトの管理ユーザを削除すると、GUI および CLI によるコントローラへのアクセスは両方とも禁止されます。したがって、デフォルトのユーザを削除する前に、管理権限 (**ReadWrite**) を持つユーザを作成しなければなりません。

ステップ 2 ロビー アンバサダー アカウントを作成するには、**Management** の **New** をクリックします。Local Management Users > New ページが表示されます (図 9-2 を参照)。

図 9-2 Management > Local Management Users > New ページ

155943

ステップ 3 User Name フィールドに、ロビー アンバサダー アカウントのユーザ名を入力します。



(注) 管理ユーザ名は、すべて単一データベース内に保存されるため、一意である必要があります。

ステップ 4 Password フィールドおよび Confirm Password フィールドに、ロビー アンバサダー アカウントのパスワードを入力します。



(注) パスワードは大文字と小文字が区別されます。

ステップ 5 User Access Mode ドロップダウン ボックスから **LobbyAdmin** を選択します。このオプションを使用すると、ロビー アンバサダーでゲスト ユーザ アカウントを生成できます。



(注) **ReadOnly** オプションでは、読み取り専用の権限を持つアカウントを作成し、**ReadWrite** オプションでは、読み取りと書き込みの両方の権限を持つ管理アカウントを作成します。

■ ゲストユーザアカウントの作成

ステップ 6 **Apply** をクリックして、変更を適用します。ローカル管理ユーザのリストに、新しいロビー アンバサダー アカウントが表示されます。

ステップ 7 **Save Configuration** をクリックして、変更内容を保存します。

CLI を使用したロビー アンバサダー アカウントの作成

コントローラ CLI を使用してロビー アンバサダー アカウントを作成するには、以下のコマンドを入力します。

```
config mgmtuser add lobbyadmin_username lobbyadmin_pwd lobby-admin
```



(注) **lobby-admin** を **read-only** に置き換えると、読み取り専用の権限を持つアカウントを作成します。
lobby-admin を **read-write** に置き換えると、読み取りと書き込みの両方の権限を持つ管理アカウントを作成します。

ロビー アンバサダーとしてのゲスト ユーザ アカウントの作成

ロビー アンバサダーは、次の手順に従ってゲスト ユーザ アカウントを作成します。



(注) ロビー アンバサダーは、コントローラの CLI インタフェースにアクセスできないため、コントローラの GUI からのみゲスト ユーザ アカウントを作成できます。

ステップ 1 上記の「[ロビー アンバサダー アカウントの作成](#)」の項で指定されたユーザ名およびパスワードを使用して、ロビー アンバサダーとしてコントローラにログインします。Lobby Ambassador Guest Management > Guest Users List ページが表示されます (図 9-3 を参照)。

図 9-3 Lobby Ambassador Guest Management > Guest Users List ページ



ステップ 2 **New** をクリックして、ゲスト ユーザ アカウントを作成します。Lobby Ambassador Guest Management > Guest Users List > New ページが表示されます (図 9-4 を参照)。

図 9-4 Lobby Ambassador Guest Management > Guest Users List > New ページ

155941

ステップ 3 User Name フィールドに、ゲスト ユーザの名前を入力します。最大 24 文字を入力することができます。

ステップ 4 次のいずれかの操作を行います。

- このゲスト ユーザ用のパスワードを自動的に生成する場合は、**Generate Password** チェック ボックスを選択します。生成されたパスワードは、Password フィールドおよび Confirm Password フィールドに自動的に入力されます。
- このゲスト ユーザ用にパスワードを作成する場合は、**Generate Password** チェック ボックスを選択せずに、Password フィールドおよび Confirm Password フィールドの両方にパスワードを入力します。



(注) パスワードは最大 24 文字まで含めることができ、大文字と小文字が区別されます。

ステップ 5 Lifetime ドロップダウン ボックスから、このゲスト ユーザ アカウントをアクティブにする時間 (日数、時間数、分数、秒数) を選択します。4 つのフィールド値をすべてゼロ (0) にすると、永久アカウントとなります。

デフォルト : 1 日

範囲 : 5 分から 30 日



(注) 小さい方の値、またはゲスト アカウントが作成された WLAN であるゲスト WLAN のセッション タイムアウトが、優先します。たとえば、WLAN セッションのタイムアウトが 30 分でも、ゲスト アカウントのライフタイムが 10 分の場合、アカウントはゲスト アカウントの失効に従い、10 分で削除されます。同様に、WLAN セッションがゲスト アカウントのライフタイムより前にタイムアウトする場合、クライアントは、再認証を要求するセッション タイムアウトを繰り返すことになります。



(注) ゼロ以外の値がライフタイムに設定されているゲストユーザアカウントの値は、アカウントがアクティブになっている間、いつでも別の値に変更できます。しかし、ゲストユーザアカウントを永久アカウントにするため、または、永久アカウントをゲストアカウントにするためには、そのアカウントを削除してから再度アカウントを作成しなければなりません。

ステップ6 WLAN SSID ドロップダウンボックスから、ゲストユーザが使用する SSID を選択します。リストアップされた WLAN のみに、(WLAN セキュリティ ポリシー下で) レイヤ3 の Web 認証が設定されています。



(注) 潜在的な競合を阻止するために、システム管理者が特定のゲスト WLAN を作成することをお勧めします。ゲストアカウントの有効期限が切れ、RADIUS サーバ上でアカウント名が競合し、両アカウントとも同じ WLAN 上にある場合、両アカウントにアソシエートしているユーザのアソシエートが解除されてから、ゲストアカウントが削除されます。

ステップ7 Description フィールドに、ゲストユーザアカウントの説明を入力します。最大 32 文字を入力することができます。

ステップ8 Apply をクリックして、変更を適用します。新しいゲストユーザアカウントが、Guest Users List ページのゲストユーザリストに表示されます (図 9-5 を参照)。

図 9-5 Lobby Ambassador Guest Management > Guest Users List ページ

User Name	WLAN SSID	Account Remaining Time	Description
guest1	guest	23 h 54 m 43 s	Guest1 user account

このページから、すべてのゲストユーザアカウント、それぞれの WLAN SSID およびライフタイムを表示できます。また、ゲストユーザアカウントを編集、または削除することができます。ゲストユーザアカウントを削除する場合、ゲスト WLAN を使用し、そのアカウントのユーザ名を使用してログインしているクライアントはすべて削除されます。

ステップ9 新しいゲストユーザアカウントを作成するには、この手順を繰り返します。

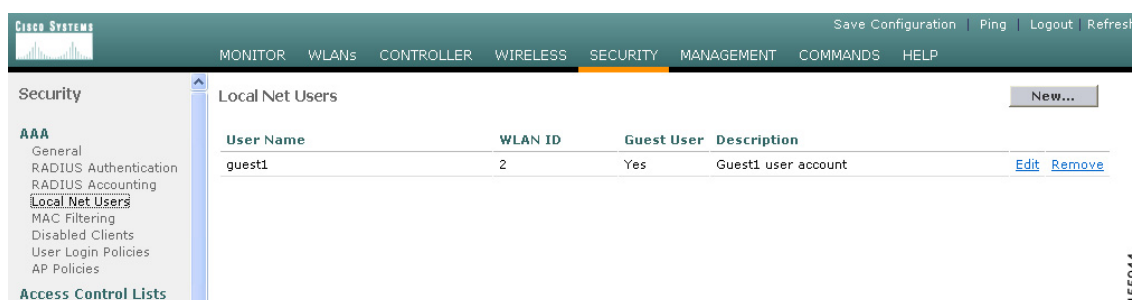
ゲストユーザアカウントの表示

ロビーアンパサダーがゲストユーザアカウントを作成後、システム管理者は、コントローラの GUI または CLI からそれらのアカウントを表示できます。

GUI を使用したゲストアカウントの表示

コントローラ GUI を使用してゲストユーザアカウントを表示するには、**Security** をクリックしてから、AAA の **Local Net Users** をクリックします。Local Net Users ページが表示されます (図 9-6 を参照)。

図 9-6 Local Net Users ページ



このページから、システム管理者はすべてのローカル ネット ユーザ アカウント (ゲストユーザアカウントを含む) を表示し、必要に応じて編集または削除することができます。ゲストユーザアカウントを削除する場合、ゲスト WLAN を使用し、そのアカウントのユーザ名を使用してログインしているクライアントはすべて削除されます。

CLI を使用したゲストアカウントの表示

コントローラ CLI を使用して、すべてのローカル ネット ユーザ アカウント (ゲストユーザアカウントを含む) を表示するには、次のコマンドを入力します。

```
show netuser summary
```

Web 認証プロセス

Web 認証は、レイヤ3セキュリティ機能です。これにより、コントローラは、クライアントが有効なユーザ名およびパスワードを正しく提供しない限り、そのクライアントに対する IP トラフィック（DHCP 関連パケットを除く）を許可しません。Web 認証を使用してクライアントを認証する場合、各クライアントのユーザ名とパスワードを定義する必要があります。クライアントは、無線 LAN に接続する際に、ログイン画面の指示に従ってユーザ名とパスワードを入力する必要があります。

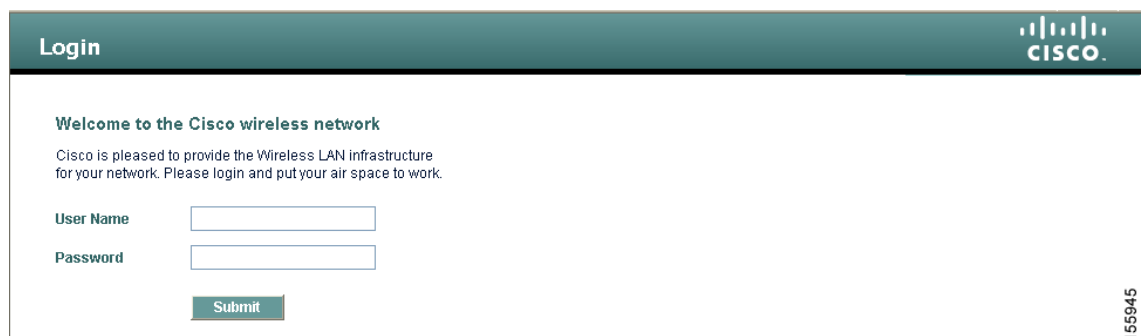
Web 認証が（WLAN セキュリティ ポリシー下で）有効になっている場合、ユーザが、最初にある URL にアクセスしようとした際に、Web ブラウザにセキュリティ警告が表示されることがあります。図 9-7 は一般的なセキュリティ警告を示しています。

図 9-7 一般的な Web ブラウザ セキュリティ警告ウィンドウ



ユーザが **Yes** をクリックして続行した後、（または、クライアントのブラウザにセキュリティ警告が表示されない場合）、Web 認証システムのログイン画面が表示されます。

図 9-8 デフォルト Web 認証ログイン ウィンドウ



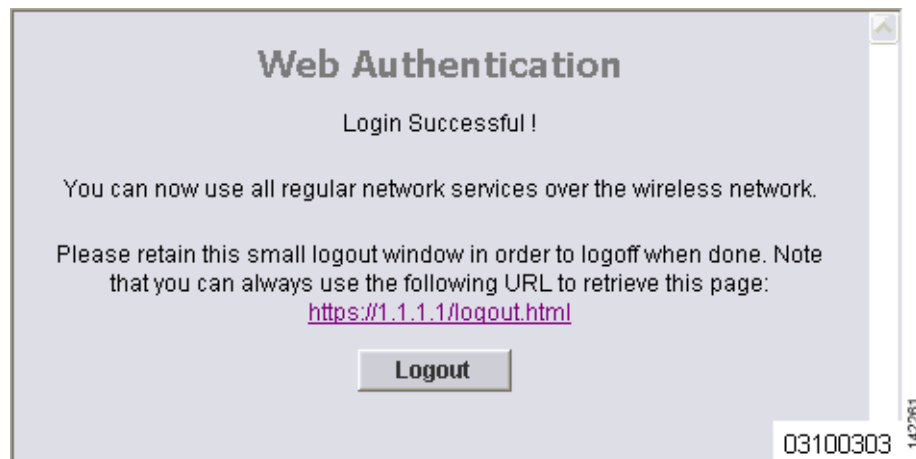
デフォルトのログイン ウィンドウには、Cisco ロゴや Cisco 特有のテキストが表示されます。Web 認証システムが次のいずれかを表示するように選択できます。

- デフォルトのログイン ウィンドウ
- デフォルトのログイン ウィンドウの変更バージョン
- 外部の Web サーバに設定する、カスタマイズされたログイン ウィンドウ
- コントローラにダウンロードする、カスタマイズされたログイン ウィンドウ

「Web 認証ログイン ウィンドウの選択」の項 (P. 9-10) には、Web 認証ログイン ウィンドウの表示方法を選択する手順が記載されています。

ユーザが、Web 認証ログイン ウィンドウで有効なユーザ名とパスワードを入力し、**Submit** をクリックすると、Web 認証システムは、ログインに成功したことを示すウィンドウを表示し、認証されたクライアントは要求した URL にリダイレクトされます。図 9-9 は一般的なログイン成功ウィンドウを示します。

図 9-9 ログイン成功ウィンドウ



デフォルトのログイン成功ウィンドウには、仮想ゲートウェイ アドレスの URL (<https://1.1.1.1/logout.html>) が表示されます。コントローラの仮想インターフェイスに設定した IP アドレスは、ログイン ウィンドウのリダイレクトアドレスとして機能します (仮想インターフェイスの詳細は、第 3 章を参照してください)。

Web 認証ログイン ウィンドウの選択

この項では、Web 認証ログイン ウィンドウの内容および外観を指定するための手順を説明します。いずれかの項の手順に従って、コントローラ GUI または CLI を使用して Web 認証ログイン ウィンドウを選択します。

- デフォルト Web 認証ログイン ウィンドウの選択 (P. 9-10)
- 外部 Web サーバでカスタマイズされた Web 認証ログイン ウィンドウの使用 (P. 9-14)
- カスタマイズされた Web 認証ログイン ウィンドウのダウンロード (P. 9-16)

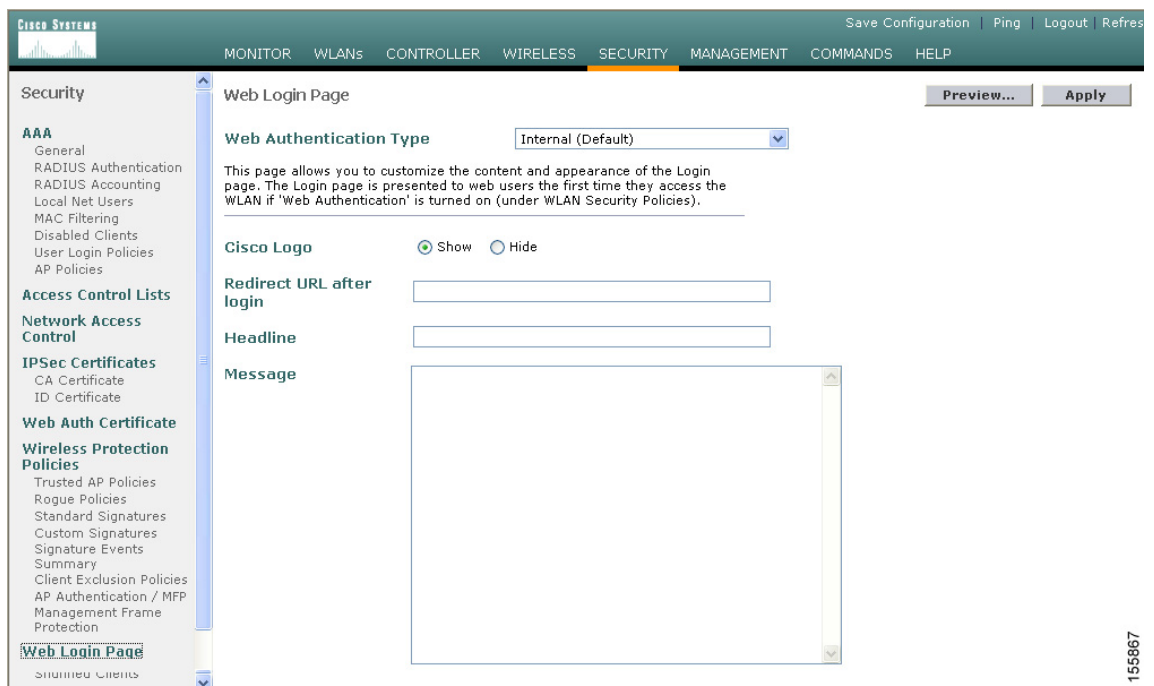
デフォルト Web 認証ログイン ウィンドウの選択

デフォルトの Web 認証ログイン ウィンドウをそのまま使用する場合 (図 9-8 を参照)、または、多少変更を加えて使用する場合、次の GUI または CLI 手順の指示に従ってください。

GUI を使用したデフォルト Web 認証ログイン ウィンドウの選択

- ステップ 1** Security > Web Login Page をクリックして、Web ログイン ページにアクセスします (図 9-10 を参照)。

図 9-10 Web ログイン ページ



- ステップ 2** Web Authentication Type ドロップダウン ボックスから **Internal (Default)** を選択します。

- ステップ 3** デフォルトの Web 認証ログイン ウィンドウをそのまま使用する場合、**ステップ 8** に進みます。デフォルトのログイン ウィンドウを変更する場合、**ステップ 4** に進みます。

- ステップ 4** デフォルト ウィンドウの右上に表示されている Cisco ロゴを非表示にする場合、Cisco Logo **Hide** オプションを選択します。それ以外の場合は、**Show** オプションをクリックします。
- ステップ 5** ユーザをログイン後に特定の URL (会社の URL など) にダイレクトさせる場合、Redirect URL After Login フィールドに必要な URL (www.AcompanyBC.com など) を入力します。最大 254 文字を入力することができます。
- ステップ 6** ログイン ウィンドウで独自のヘッドラインを作成する場合、Headline フィールドに必要なテキストを入力します。最大 127 文字を入力することができます。デフォルトのヘッドラインは、「Welcome to the Cisco wireless network.」です。
- ステップ 7** ログイン ウィンドウで独自のメッセージを作成する場合、Message フィールドに必要なテキストを入力します。最大 2047 文字を入力することができます。デフォルトのメッセージは、「Cisco is pleased to provide the Wireless LAN infrastructure for your network. Please login and put your air space to work.」です。
- ステップ 8** **Apply** をクリックして、変更を適用します。
- ステップ 9** **Preview** をクリックして、Web 認証ログイン ウィンドウを表示します。
- ステップ 10** ログイン ウィンドウの内容と外観に満足したら、**Save Configuration** をクリックして変更を保存します。納得いかない場合は、納得する結果を得られるように必要に応じて上記手順を繰り返します。

CLI を使用したデフォルトの Web 認証ログイン ウィンドウの選択

- ステップ 1** デフォルトの Web 認証タイプを指定するには、次のコマンドを入力します。

```
config custom-web webauth_type internal
```

- ステップ 2** デフォルトの Web 認証ログイン ウィンドウをそのまま使用する場合、[ステップ 7](#)に進みます。デフォルトのログイン ウィンドウを変更する場合、[ステップ 3](#)に進みます。

- ステップ 3** デフォルトのログイン ウィンドウの右上に表示されている Cisco ロゴの表示 / 非表示を切り替えるには、次のコマンドを入力します。

```
config custom-web weblogo {enable | disable}
```

- ステップ 4** ユーザをログイン後に特定の URL (会社の URL など) にダイレクトさせる場合、次のコマンドを入力します。

```
config custom-web redirecturl url
```

URL には最大 130 文字を入力することができます。リダイレクト先をデフォルトの設定に戻すには、**clear redirecturl** と入力します。

ステップ 5 ログイン ウィンドウで独自のヘッドラインを作成する場合、次のコマンドを入力します。

```
config custom-web webtitle title
```

最大 130 文字を入力することができます。デフォルトのヘッドラインは、「Welcome to the Cisco wireless network.」です。ヘッドラインをデフォルトの設定に戻すには、**clear webtitle** と入力します。

ステップ 6 ログイン ウィンドウで独自のヘッドラインを作成する場合、次のコマンドを入力します。

```
config custom-web webmessage message
```

最大 130 文字を入力することができます。デフォルトのメッセージは、「Cisco is pleased to provide the Wireless LAN infrastructure for your network. Please login and put your air space to work.」です。メッセージをデフォルトの設定に戻すには、**clear webmessage** と入力します。

ステップ 7 **save config** と入力して、設定を保存します。

ステップ 8 独自のロゴを Web 認証ログイン ウィンドウにインポートする場合、次の手順に従ってください。

- a. Trivial File Transfer Protocol (TFTP) サーバがダウンロードのために使用可能であることを確認します。TFTP サーバをセットアップする際の注意事項は次のとおりです。
 - サービスポート経由でダウンロードする場合、サービスポートはルーティングできないため、TFTP サーバはサービスポートと同じサブネット上になければなりません。
 - ディストリビューションシステム ネットワーク ポートを経由してダウンロードする場合、ディストリビューションシステム ポートはルーティング可能なので、TFTP サーバは同じサブネット上にあっても、別のサブネット上にあってもかまいません。
 - サードパーティの TFTP サーバと WCS 内蔵型 TFTP サーバは同じ通信ポートを使用するため、サードパーティの TFTP サーバは Cisco WCS と同じコンピュータ上で実行できません。
- b. **ping ip-address** を入力して、コントローラが TFTP サーバと通信可能であることを確認します。
- c. TFTP サーバのデフォルト ディレクトリにロゴファイル (.jpg、.gif、または .png 形式) を移動します。ファイルサイズは 30KB 以内です。うまく収まるようにするには、ロゴは、横 180 ピクセル X 縦 360 ピクセル前後の大きさにします。
- d. ダウンロード モードを指定するには、**transfer download mode tftp** と入力します。
- e. ダウンロードするファイルのタイプを指定するには、**transfer download datatype image** と入力します。
- f. TFTP サーバの IP アドレスを指定するには、**transfer download serverip tftp-server-ip-address** と入力します。



(注) TFTP サーバによっては、TFTP サーバ IP アドレスにスラッシュ (/) を入力するだけで、自動的に適切なディレクトリへのパスが判別されるものもあります。

- g. ダウンロード パスを指定するには、**transfer download path absolute-tftp-server-path-to-file** と入力します。
- h. ダウンロードするファイルを指定するには、**transfer download filename {filename.jpg|filename.gif|filename.png}** と入力します。

- i. **transfer download start** と入力して更新した設定を表示し、プロンプトに **y** と応答して現在のダウンロード設定を確認し、ダウンロードを開始します。次のような情報が表示されます。

```
Mode..... TFTP
Data Type..... Login Image
TFTP Server IP..... xxx.xxx.xxx.xxx
TFTP Path..... <directory path>
TFTP Filename..... <filename.jpg|.gif|.png>
This may take some time.
Are you sure you want to start? (y/n) y
TFTP Image transfer starting.
Image installed.
```

- j. **save config** と入力して、設定を保存します。



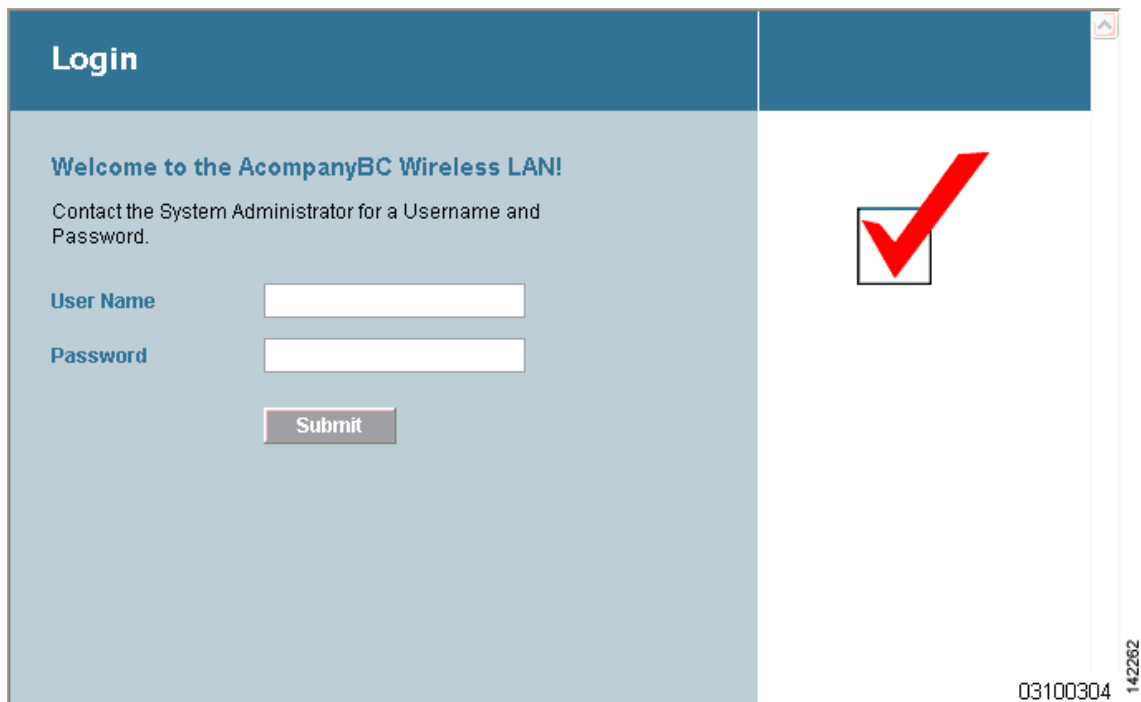
(注) Web 認証ログイン ウィンドウからロゴを削除するには、**clear webimage** と入力します。

ステップ 9 「CLI を使用した、Web 認証ログイン ウィンドウ設定の確認」の項 (P. 9-19) の指示に従って、設定を確認します。

変更されたデフォルトの Web 認証ログイン ウィンドウの例

図 9-11 は、変更されたデフォルトの Web 認証ログイン ウィンドウの例を示しています。

図 9-11 変更されたデフォルトの Web 認証ログイン ウィンドウの例



03100304

142262

次の CLI コマンドは、このウィンドウの作成に使用されたものです。

```
config custom-web weblogo disable
```

```
config custom-web webtitle Welcome to the AcompanyBC Wireless LAN!
```

```
config custom-web webmessage Contact the System Administrator for a Username and Password.
```

```
transfer download start
```

```
Mode..... TFTP
Data Type..... Login Image
TFTP Server IP..... xxx.xxx.xxx.xxx
TFTP Path..... /
TFTP Filename..... Logo.gif
This may take some time.
Are you sure you want to start? (y/n) y
TFTP Image transfer starting.
Image installed.
```

```
config custom-web redirecturl http://www.AcompanyBC.com
```

```
show custom-web
```

```
Cisco Logo..... Disabled
CustomLogo..... 00_logo.gif
Custom Title..... Welcome to the AcompanyBC Wireless LAN!
Custom Message ..... Contact the System Administrator for a Username and
Password.
Custom Redirect URL..... http://www.AcompanyBC.com
Web Authentication Mode..... Disabled
Web Authentication URL..... Disabled
```

外部 Web サーバでカスタマイズされた Web 認証ログイン ウィンドウの使用

外部 Web サーバで設定した、カスタマイズされた Web 認証ログイン ウィンドウを使用する場合、次の GUI または CLI 手順の指示に従ってください。この機能を有効にすると、ユーザは、外部 Web サーバ上のカスタマイズされたログイン ウィンドウへダイレクトされます。



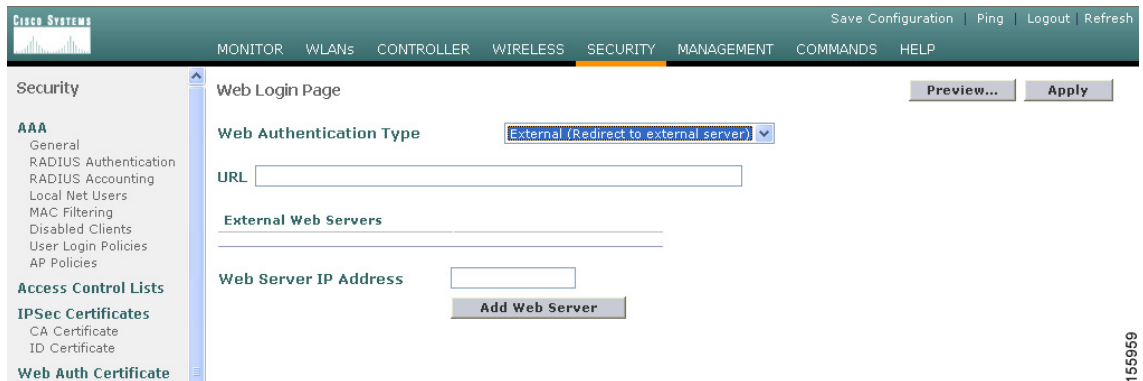
(注)

外部 Web サーバに対して、事前認証アクセス コントロール リスト (ACL) を WLAN 上で設定してから、Security Policies > Web Policy on the WLANs > Edit ページで、WLAN 事前認証 ACL としてその ACL を選択する必要があります。ACL の詳細は、第 5 章「アクセス コントロール リストの設定」を参照してください。

GUI を使用した、外部 Web サーバでカスタマイズされた Web 認証ログイン ウィンドウの選択

- ステップ 1** Security > Web Login Page をクリックして、Web ログイン ページにアクセスします (図 9-12 を参照)。

図 9-12 Web ログイン ページ



- ステップ 2** Web Authentication Type ドロップダウン ボックスから **External (Redirect to external server)** を選択します。
- ステップ 3** URL フィールドに、Web サーバ上のカスタマイズされた Web 認証ログイン ウィンドウの URL を入力します。最大 252 文字を入力することができます。
- ステップ 4** Web Server IP Address フィールドに、Web サーバの IP アドレスを入力します。Web サーバは、コントローラ サービス ポート ネットワークとは異なるネットワーク上に存在しなくてはなりません。
- ステップ 5** **Add Web Server** をクリックします。このサーバは、外部 Web サーバリスト上に表示されます。
- ステップ 6** **Apply** をクリックして、変更を適用します。
- ステップ 7** ログイン ウィンドウの内容と外観に満足したら、**Save Configuration** をクリックして変更を保存します。

CLI を使用した、外部 Web サーバでカスタマイズされた Web 認証ログイン ウィンドウの選択

- ステップ 1** Web 認証タイプを指定するには、次のコマンドを入力します。
- ```
config custom-web webauth_type external.
```
- ステップ 2** Web サーバ上のカスタマイズされた Web 認証ログイン ウィンドウの URL を指定するには、次のコマンドを入力します。
- ```
config custom-web ext-webauth-url url
```
- URL には最大 252 文字を入力することができます。
- ステップ 3** Web サーバの IP アドレスを指定するには、次のコマンドを入力します。
- ```
config custom-web ext-webserver {add | delete} server_IP_address
```

**ステップ 4** `save config` と入力して、設定を保存します。

**ステップ 5** 「CLI を使用した、Web 認証ログイン ウィンドウ設定の確認」の項 (P. 9-19) の指示に従って、設定を確認します。

## カスタマイズされた Web 認証ログイン ウィンドウのダウンロード

Web 認証ログイン ウィンドウで使用するページやイメージ ファイルをコントローラへダウンロードするために tar ファイルに圧縮できます。これらのファイルは、*webauth bundle* と呼ばれています。ファイルの最大許容サイズは、非圧縮の状態です。1 MB です。tar ファイルがローカル TFTP サーバからダウンロードされる際、コントローラのファイルシステムには、展開済みファイルとして取り込まれます。

カスタマイズされたログイン ウィンドウを作成する際のガイドラインは、次のとおりです。

- ログイン ページの名前を「login.html」とします。コントローラは、この名前に基づき Web 認証 URL を作成します。webauth bundle の展開後にこのファイルが見つからない場合、bundle は破棄され、エラー メッセージが表示されます。
- ユーザ名とパスワードの両方に入力フィールドを提供する。
- リダイレクト先の URL を元の URL から抽出後、非表示入力アイテムとして保持する。
- 元の URL からアクション URL を抽出して、ページに設定する。
- リターン ステータス コードをデコードするスクリプトを提供する。
- メインページで使用されるすべてのパス（たとえば、イメージへの参照など）が相対タイプであることを確認する。

サンプルのログイン ページを Cisco WCS からダウンロードし、カスタマイズの足がかりとして利用できます。手順は、『Cisco Wireless Control System Configuration Guide, Release 4.0』の「Using Templates」の章の「Downloading a Customized Web Auth Page」を参照してください。

カスタマイズされた Web 認証ログイン ウィンドウをコントローラにダウンロードする場合、次の GUI または CLI 手順の指示に従ってください。

## GUI を使用した、カスタマイズされた Web 認証ログイン ウィンドウのダウンロード

**ステップ 1** ファイルのダウンロードで TFTP サーバを使用できることを確認します。「CLI を使用したデフォルトの Web 認証ログイン ウィンドウの選択」の項 (P. 9-11) のステップ 8 にある TFTP サーバのセットアップのガイドラインを参照してください。

**ステップ 2** ログイン ページが含まれる tar ファイルを TFTP サーバのデフォルトディレクトリに移動します。

**ステップ 3** **Commands > Download File** をクリックして、Download File to Controller ページ (図 9-13 を参照) にアクセスします。



図 9-13 Download File to Controller ページ

- ステップ 4** File Type ドロップダウン ボックスから、**Webauth Bundle** を選択します。
- ステップ 5** IP Address フィールドに、TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
- ステップ 6** Maximum Retries フィールドに、コントローラによる .tar ファイルのダウンロードの最大試行回数を入力します。
- 範囲 : 1 ~ 254  
デフォルト : 10
- ステップ 7** Timeout フィールドに、コントローラによる \*.tar ファイルのダウンロード試行がタイムアウトするまでの時間 (秒数) を入力します。
- 範囲 : 1 ~ 254 秒  
デフォルト : 6 秒
- ステップ 8** File Path フィールドに、ダウンロードする .tar ファイルのパスを入力します。デフォルト値は「/」です。
- ステップ 9** File Name フィールドに、ダウンロードする .tar ファイルの名前を入力します。
- ステップ 10** **Download** をクリックして、.tar ファイルをコントローラへダウンロードします。
- ステップ 11** **Security > Web Login Page** をクリックして、Web ログインページにアクセスします。
- ステップ 12** Web Authentication Type ドロップダウン ボックスから **Customized (Downloaded)** を選択します。
- ステップ 13** **Apply** をクリックして、変更を適用します。
- ステップ 14** **Preview** クリックして、カスタマイズされた Web 認証ログイン ウィンドウを表示します。
- ステップ 15** ログイン ウィンドウの内容と外観に満足したら、**Save Configuration** をクリックして変更を保存します。

## CLI を使用した、カスタマイズされた Web 認証ログイン ウィンドウのダウンロード

- 
- ステップ 1** ファイルのダウンロードで TFTP サーバを使用できることを確認します。「[CLI を使用したデフォルトの Web 認証ログイン ウィンドウの選択](#)」の項 (P. 9-11) の **ステップ 8** にある TFTP サーバのセットアップのガイドラインを参照してください。
- ステップ 2** ログイン ページが含まれる .tar ファイルを TFTP サーバのデフォルトディレクトリに移動します。
- ステップ 3** ダウンロード モードを指定するには、**transfer download mode tftp** と入力します。
- ステップ 4** ダウンロードするファイルのタイプを指定するには、**transfer download datatype webauthbundle** と入力します。
- ステップ 5** TFTP サーバの IP アドレスを指定するには、**transfer download serverip tftp-server-ip-address** と入力します。



---

**(注)** TFTP サーバによっては、TFTP サーバ IP アドレスにスラッシュ (/) を入力するだけで、自動的に適切なディレクトリへのパスが判別されるものもあります。

---

- ステップ 6** ダウンロード パスを指定するには、**transfer download path absolute-tftp-server-path-to-file** と入力します。
- ステップ 7** ダウンロードするファイルを指定するには、**transfer download filename filename.tar** と入力します。
- ステップ 8** **transfer download start** と入力して更新した設定を表示し、プロンプトに **y** と応答して現在のダウンロード設定を確認し、ダウンロードを開始します。
- ステップ 9** Web 認証タイプを指定するには、**config custom-web webauth\_type customized** と入力します。
- ステップ 10** **save config** と入力して、設定を保存します。
- ステップ 11** 「[CLI を使用した、Web 認証ログイン ウィンドウ設定の確認](#)」の項 (P. 9-19) の指示に従って、設定を確認します。
-

## カスタマイズされた Web 認証ログイン ウィンドウの例

図 9-14 は、カスタマイズされた Web 認証ログイン ウィンドウの例を示しています。

図 9-14 カスタマイズされた Web 認証ログイン ウィンドウの例

## CLI を使用した、Web 認証ログイン ウィンドウ設定の確認

`show custom-web` と入力して、Web 認証ログイン ウィンドウへの変更を確認します。次の例は、構成設定がデフォルト値に設定されている際に表示する情報を示します。

```
Cisco Logo..... Enabled
CustomLogo..... Disabled
Custom Title..... Disabled
Custom Message..... Disabled
Custom Redirect URL..... Disabled
Web Authentication Mode..... Disabled
Web Authentication URL..... Disabled
```

This example shows the information that appears when the configuration settings have been modified:

```
Cisco Logo..... Disabled
CustomLogo..... 00_logo.gif
Custom Title..... Welcome to the AcompanyBC Wireless LAN!
Custom Message..... Contact the System Administrator for a
Username and Password.
Custom Redirect URL..... http://www.AcompanyBC.com
Web Authentication Mode..... Internal
Web Authentication URL..... Disabled
```

